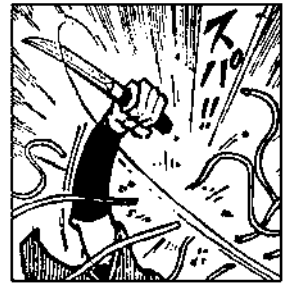
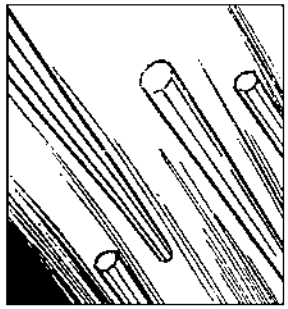
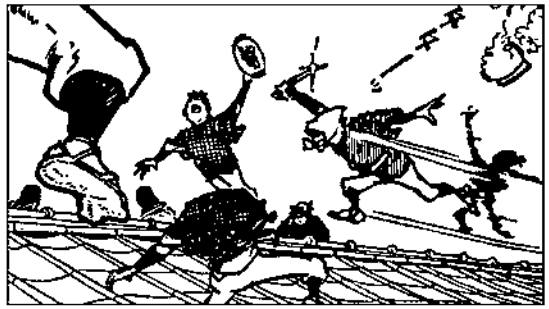
ごようごようだっ!!

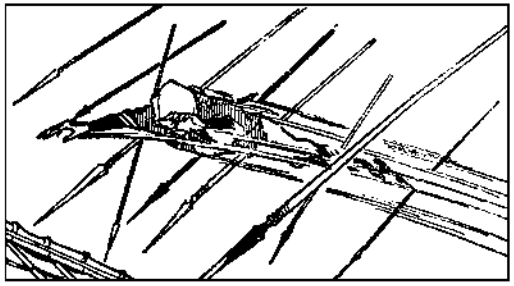
うわっ!!


スパッ!!

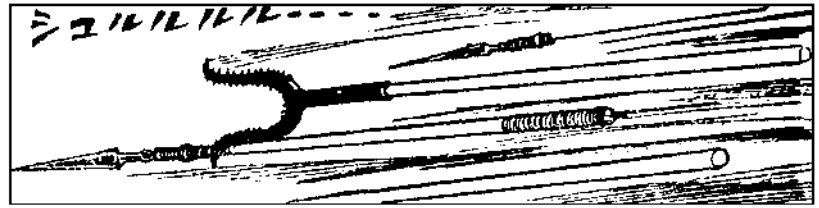




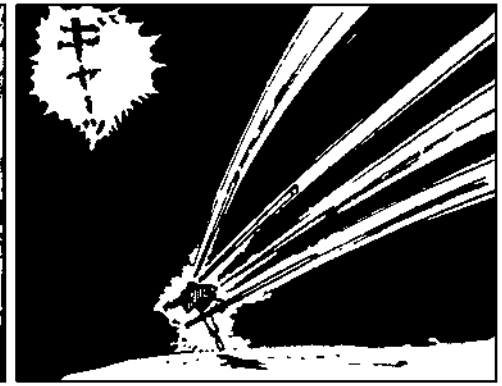
にがすなっ!!



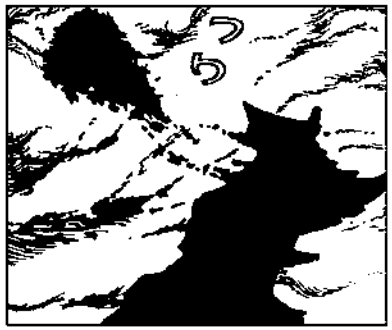
タタタタタ……


シュルルルル……

あっ


キャー

う
う


う
う

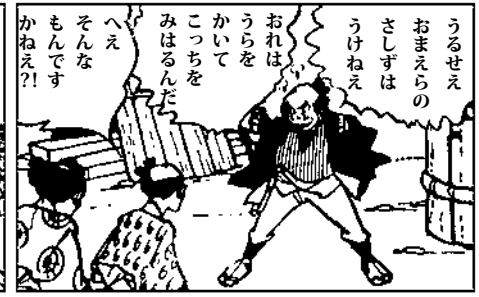
な　なんと
いうことだ
寺の山門が
コウモリと
なって　犯人と
いっしょに
きえたぞ?!

わっ!!

はあっ はあっ 平助！ 天六！
へい

あとにつづけ
あっ 親分！

な なんだ
そっちは東ですよ 犯人は西ににげたといってましたぜ


うるせえ おまえらのさしずはうけねえ
おれは うらをかいて こっちをみはるんだ
へえ そんなもんですかねえ?!

金形の親分！

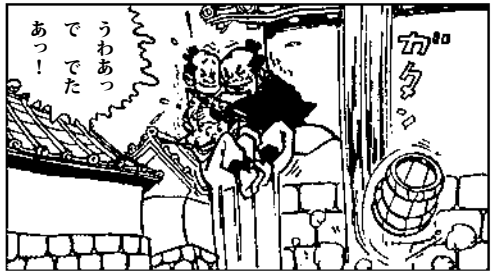
な なんだ 平助

こんどの犯人は目くらましの術をつかう そうですよ よっぽどはらをすえてかからねえと……

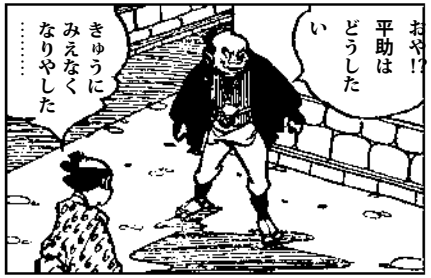
つべこべいうなっ
おれにゃあいつも紫電さまがついていなさるんだ！

こんやもきっと犯人をコテンにのばして おれのところへもってきてくださるにちげえねえ
だって親分 まるっきし はんたいの方角ににげてたんじゃね

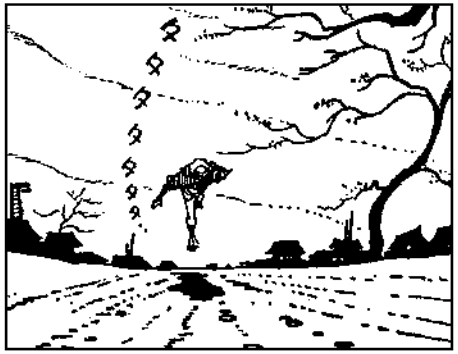
にげるんじゃねえ こっちにあみをはるんだ なぐるぞ こいつ！
へい

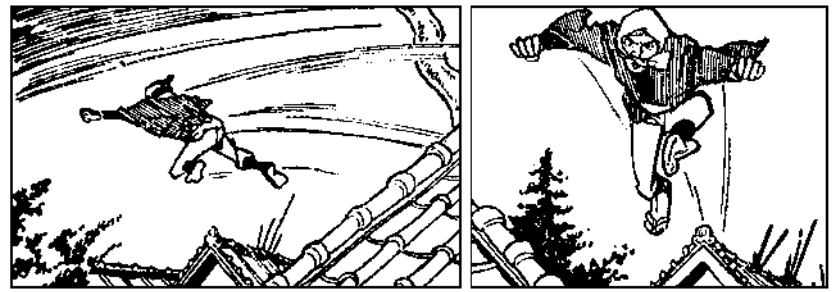

カタン
うわあっ でた
あっ！

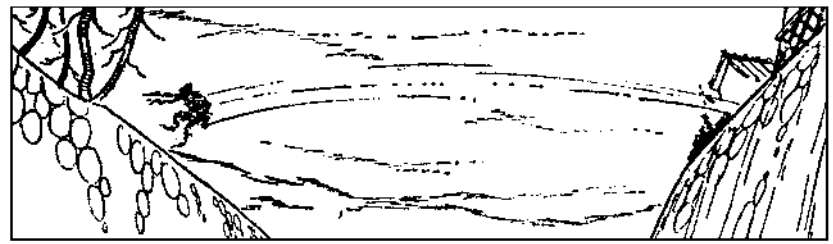
ふう な なんだ ねこか
おどかすじゃねえか 天六
へいっ


おや!? 平助はどうしたい
きゅうにみえなくなりやした……

ちぇっ またかい あのやろうかんじんなときはいつもオシッコだまったくろくな子分はいやしねえ







だれだっ!!

ふふふふ
さすがは
忍びの者
きづいて
いたか

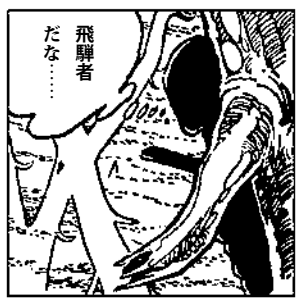
こっぱ役人を
まくのは
ぞうさ
なかったが…
おまえ
だけは
よくも
ここまでつ
けてきたな

ふふふふ
あの足のはやさ
は 伊賀者でも
甲賀者でも
なさそうだな……

おれを
忍びの者と
みやぶった
きさまも ただの
ねずみでは
ないな!

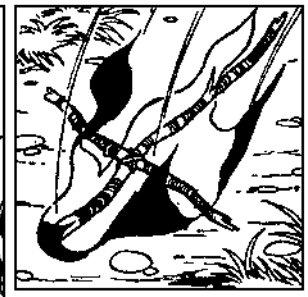
なにっ!

げっ!
そこまで
よんだ
きさまは
なに者だ!
でてこい
ひきょう
だぞ……


飛騨者
だな……

おのれ
くらえっ!

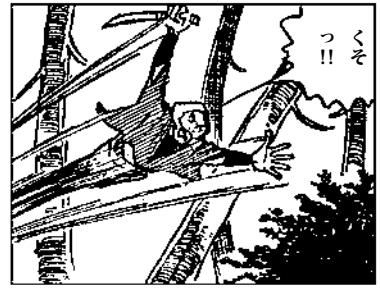
ふふふふ
忍者の
ひきょうは
ゆるされて
いる
それをおこる
おまえは
まだ新いりだな

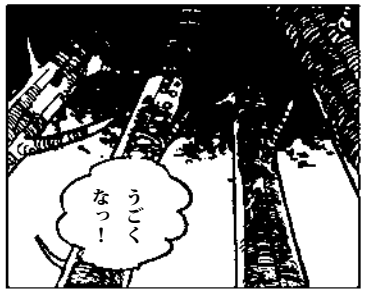


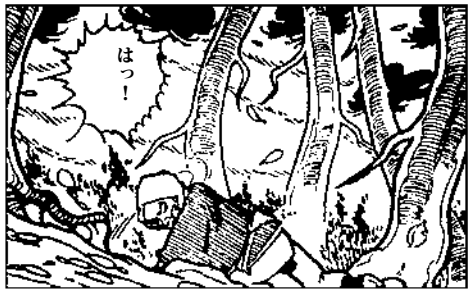
ふふふふ
やっぱり
おまえは
新まいだ
むむっ
いつのまに
うしろに…

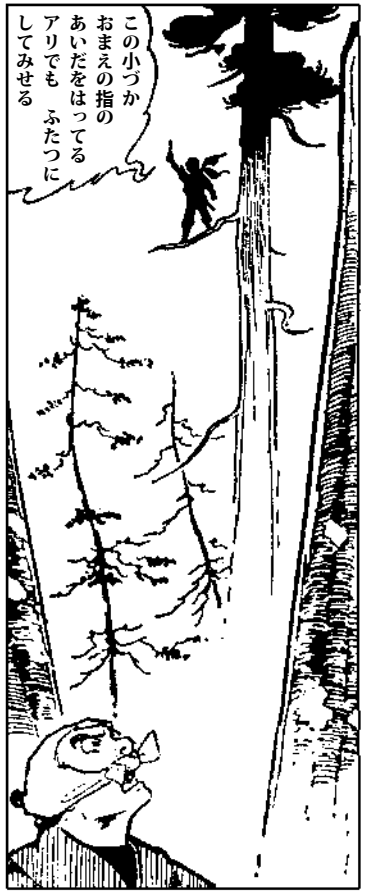
あっ！

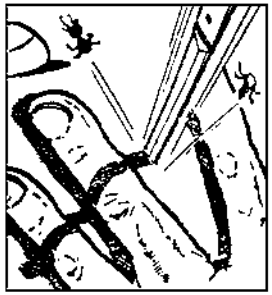
わっ
き きえ
た！

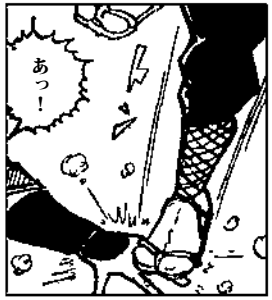

くそ
っ!!


うごく
なっ！


はっ！


この小づか
おまえの指の
あいだをはってる
アリでも ふたつに
してみせる




あっ！

いのちは
とらぬ
また番所にも
つきださぬ！